

編集後記

確か平成 18 年度の理事会において、財務状況から見て今後の会報の発行は冊子体ではなく PDF 文書としてホームページ (HP) に掲載してはどうか、その方が経費もかからず、また会員以外にも広く読んでいただけるから、という提案をした記憶がある。今年もその話をしたところ、言い出しっぺがまず既刊の会報の PDF 化と HP への掲載を担当することになってしまった。早速 HP 作成の委託先である (財) 農学会の担当者に尋ねたところ、会報をスキャンして PDF 化までしていただければ、追加経費なしで掲載していただけることのであった。そこで 3 月まで所属していた研究室の大学院生にアルバイトとして PDF 化を引き受けていただき、HP に掲載することができた。併せて第 1 回から第 3 回シンポジウムのテープ起こしを中井先生がしていただいたということで、そのワードファイルをいただき、これも PDF 化して掲載することができた。

これで滞貨一掃と思っていたところ、会報 8 号の発行が滞っていることに気づき、急遽、会長の鈴木先生にお願いして、三輪先生 (委員長)、門間先生と事務局担当の私との東京農大三人衆で、次の理事会までの暫定的な編集委員会をつくることをお認めいただき、会報 8 号の編集をすることになった。当然の事ながら、上記三人は論壇の執筆を担当せざるを得なかったが、山崎先生、陽先生にもご迷惑をかけることになってしまった。また会長には巻頭言を書いていただいた。

今後の会報のあり方については、会員の自由な意見発表の場である論壇に加えて、特集を組んだら良いのではないかと思っている。また年 2 回程度の発行をすると、アカデミーも活性化が進むのではないかと思われる。会員の忌憚のないご意見をもとに理事会で検討していただき、新たな編集委員会で検討いただければと思っている。 (會田勝美)